

式 辞

中国学園大学・大学院・中国短期大学・専攻科を卒業・修了される皆さんに一言お祝いの言葉をお送りします。

卒業生ならびに修了生諸君におかれましては、中国学園における研鑽の成果が、本日、皆さんの履歴に輝かしく刻印されることとなります。誠にお目出度いことであり、学園を代表して心からお祝いを申し上げますと共に、これまでご支援いただきましたご家族や関係各位にお慶びと御礼を申し上げます次第です。

本年度、中国学園を卒業・修了される方々は、総勢382名の多きに達します。本学園において、これだけ多数の逸材を育成し得たことを、学長として大変誇りに存じておりますと共に、指導に当たられた教職員一同に改めてお礼を申し上げます。

本日を期して、社会人になられる諸君、またさらに進学される方々には、それぞれ新たな環境に身を置かれることとなります。この節目にあたりまして、皆さんにお話ししておきたいことがあります。

まず、皆さんには、高い学術レベルを誇る中国学園において、それぞれの専門分野において厳しい指導に耐え、学業を達成したという自信と、中国学園に学んだという誇りを持ち続けて欲しいと思います。その上で、皆さんには、それぞれが修められた分野において、今後我が国の発展に寄与するという大きな使命が課せられていることを自覚していただきたいと願っています。

私たちの人類社会は、有史以来、自らの知的活動により得られる成果を集積し、錬磨することにより、科学を産み、さらにそれを高度な技術や社会システムとして具体化することにより、人間社会を発展させてきました。しかし、一つ課題が解決されれば、さらに複数の課題が出来るのが社会の常であります。この尽きぬ難問を解消するためには、常に新たな人智を創成していく以外に道はありません。

大学・短期大学は、その人材を育成するために設置された社会的公器であると考えています。そこで研鑽を積まれた皆さんには、個人を超えた公的な使命があることを自覚し、我が国だけでなく人類社会の発展に寄与するという気構えを持ち続けていただくことを期待しています。

中国学園は、本年から新たな教学の基本理念として、「自律創世」を掲げることとしました。学園を去られる皆さんには、今後社会において生活される際の拠り所として、念頭に置いていただきたく、私からの餞の言葉としてお送りしたいと思います。

実社会は、学校世界とは質的に全く異なります。学校では、教育というシステムの中でさまざまな支援を受けながら、いわば、受動的に研鑽を行ってこられたといっても過言ではないでしょう。しかし、実社会には、このような支援システムはありません。さらに、皆さんは、これから学校に在籍したより遙かに長い時間をこの世界で過ごされることとなります。このような社会で、充実した人生を形作るためには、他に依存しない自己の確立と社会の構成に主体的に関わったという達成感が必須と考えるからです。容易なことではありませんが、人として生を受けた以上、終生努力し続けなければならない命題といえるでしょう。

我が国は、これまで、明治維新と太平洋戦争の戦後復興という世界史にも例を見ない回天事業を成功させてきました。その大きな要因は、日本人が歴史的に培い、日本人と日本社会に深く根付いた、「自律創世」と趣を同じくする高度な精神性が存在していたからだと考えています。

今、我が国にも世界にも新たな試練が次々と惹起しています。中国学園で学ばれた皆さんには、学是である「自律創世」を体し、次の日本や世界を担う人材として成長され、社会において高い評価を受けられることを期待して止みません。終わりに、古代中国の哲人孔子の言葉を少しもじり、今ひとつの餞として皆さんに贈ります。

「^{くら}学びて行わざれば即ち罔し、^{あやう}思わずして行えば即ち殆し」

令和2年3月19日

中国学園大学・中国短期大学
学 長 千 葉 喬 三

